

モデルコース②

右はきわら左やはた ここが遠路の分かれ道

いさわ かすがい
石和から春日居へ 道に名付けられた町を目指す

笛吹市の別田三叉路、現在の柳橋交差点の一角には石造りの三界萬霊塔が遺されており、そこには「右はきわら道、左やはた道」と刻まれています。「萩原道」は大菩薩峠への道中で萩原(甲州市)を通過する青梅街道の別名、「八幡道」は旧八幡村(山梨市)を通過する秩父往還間道の別名であり、ここが秩父往還本道(青梅街道と並行)と間道の分岐点であったことが分かります。

この一帯の地名「別田」の由来について、江戸時代末期に編纂された甲斐国の地誌『甲斐国志』は「分かれ路があったので、この地を別田と呼ぶようになった」と伝えています。道に名付けられた町であった別田周辺には、道標や道祖神が幾つも残されています。山裾の道を辿って寺社を巡りつつ、かつての交通の要衝を目指してみませんか。春には一面に広がる桃の花が、すばらしい景色を見せてくれることでしょう。道中の岩下温泉には日帰り入浴が可能な温泉があるほか、石和温泉駅には足湯も併設されています。

レンタサイクル利用の場合

S **G** 石和温泉駅

距離：約11.5km/所要時間：約6時間(石和温泉駅南口、観光案内所からレンタサイクル利用)
普通自転車(無料)：保証金1,000円が必要、自転車返却時に返金(返却 16時半まで)
電動自転車(有料)：1,000円(3時間以内)、超過料金1時間毎500円(返却 16時半まで)

徒歩の場合

S 石和温泉駅 **G** 春日居町駅

距離：約8.3km/所要時間：約7時間(徒歩)

体力や時間に応じて、途中で石和温泉駅に戻る、春日居町駅発着とする等のコースアレンジも可能です。

コース概要

その他 関連情報

石和温泉駅から石和温泉界隈を散策したい → 石和温泉湯けむりルート(峡東ワインリゾートマップ)

春日居町駅から山梨市駅前方面へ散策したい → 山梨市駅周辺ルート(峡東ワインリゾートマップ)
てくてくお散歩MAP(山梨市 桃の花散策MAP)

春日居町駅周辺の歴史資源を詳しく知りたい → 青梅街道(春日居地区)てくてくマップ
(笛吹市 てくてく古道を歩こう 青梅街道 春日居編)



大蔵経寺

722(養老6)年、行基の創建と伝えられる古寺です。1370(応安3)年に足利義満の子である観道上人が入山するに当たり、武田信成に命じて伽藍を建造させ、大蔵経(仏教聖典の総集)を五重の塔に奉納したことが寺の名前の由来です。以降武田家の祈願寺となり、今も守護尊である將軍地蔵を所蔵しています。

物部神社

大和朝廷の使者として武内宿禰らが東方巡察を行った折、物部氏の従者により創設されたと伝えられています。創建当初は大蔵経寺山の麓にある御室山に鎮座していましたが、鎌倉時代に現在の場所に遷座しました。



山梨岡神社

927(延長5)年に成立した「延喜式神名帖」に、物部神社、甲斐奈神社と並んで掲載される式内社で、創建は崇神天皇代(一説に3世紀後半)と伝わります。成務天皇代(一説に4世紀中頃)、ヤマナシの群生林を切り開いて現在の場所に移され、「山梨岡神社」と名付けられました。このことがこの地域の地名である「山梨郡」、更には「山梨県」の由来とも言われています。社殿の背後に立つ御室山が美しい神社です。是非国道沿いから、真っ直ぐな参道を歩いてみて下さい。



保雲寺

曹洞宗の寺院で、創建は1441(嘉吉元)年とされています。江戸時代末期に編纂された地誌『甲斐国志』には、武田信繩の妻であり信虎の母であった崇昌院の位牌が保雲寺にある旨の記載が見られます。中央に石臼が埋められた参道が特徴的です。また参道の脇の台座のような岩の上に置かれた丸石は、甲斐国内の道祖神によく見られる形態です。本コースを含め、各地で様々な配置・サイズ・数の丸石道祖神を見つけることができます。



走湯神社・天神社・天神塚古墳

上岩下と下岩下には走湯神社がそれぞれ1社ずつ鎮座し、湯権現として湯の神を祀ります。上岩下の走湯神社の鎮座地には、元は1601(慶長6)年に創建された天神社があり、1921(大正10)年に走湯神社が鎮座しました。境内には天神塚古墳があり、こちらは6世紀後半から7世紀初頭に作られた、県内有数の大型石室を持つ円墳です。

岩下温泉

源泉は28℃の無色透明な冷泉で、江戸時代以降は共同浴場として地域の人々に親しまれました。日帰り入浴が可能な「岩下温泉旅館」の旧館は1875(明治8)年の建築で、国の登録有形文化財に登録されています。



六地藏石幢(道標)

三叉路に面した駐車場の端に六地藏石幢が立っています。幢身部分の文字は薄れていますが「右ハ八川浦道左ハ西保道」とあり、秩父往還の道標として活用されていたことが分かります。川浦道は川浦地区を通過する秩父往還の別名です。西保は秩父裏街道の途中にある地区で、秩父裏街道は「西保海道」とも呼ばれました。



保泉寺

春日居町別田地区に鎮座する曹洞宗の寺院です。春には参道脇の枝垂桜が見事な花を付けます。敷地外から山門に向かって右手、寺名を記した石柱の背後に、現在も別田三叉路に残る道標とは別の、もう1基の道標が移設されています。中央には「観世音」、右側には「右はきわら かはうら」、左側には「左やはた にしふ」と刻まれています。

